
空

わざおぎ

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空

【Nコード】

N8055R

【作者名】

わざおぎ

【あらすじ】

放課後の教室で空について議論する女子高生。

一番好きな空は何か？

「ちなみにあたしは青空ね。爽やかだし清^{すがすが}しいし外で思いつきり遊べるでしょ。曇りは気候的に丁度いいけど気分は晴れないし、雨は鬱陶しいだけだし」

雨が鬱陶しいというのには共感するが、私が一番好きな天気は曇りだった。陽が直接差さないから眩しくないし、空気が湿っていて気持ちいい。晴れが嫌いだと言っわけではないが、例えば体育祭等の野外での活動時に？雲一つない行楽日和？だったらば、暑いし日焼けするしで嫌に決まっている。

しかし、雨が鬱陶しいと言っても水不足になって貰っては困るので、適度には降ってほしいと思う。

てか、質問は好きな空であって好きな天気ではないのでは？

「ふーん。そっか」

そっけなく相槌を打っておく。

「つれないなあ。で、すーさんはどうなの？」

「そうだなあ。私は……紫かな。黒に近い」

限りなく夜に近い紫が好き。……別に村上龍にあやかってるわけじゃなく。

茜と夜が交わる場所。私はそれが好きだった。
タイミングが難しくてすぐ見逃してしまうけど。

「むらさきい？ そんな色があるの？」

「あるよ。てかキリさんてさぁ……空の色って青しか知らないんじゃないの？」

「失礼な！ 青以外だって知ってるわよ。赤でしょ、黒でしょ、……それぐらい？」

「……それぐらいしか知らない人がどんな空が好きかって聞くのはどうよ」

「うー。いいじゃん、あたしは青が好きだから青しか知らなくていいの！ そういうすーさんは知ってるって言うの？」

「んー、まあまあ。てか青にしたって濃い色から薄い色まであるし、赤だってオレンジとか朱色とかあるし。あとは白とか赤紫とか？」

「へーえ。よく分かんないけど」

分からのかい。いや、別に分からなくてもいいんだけど。

窓の外を見ると陽は少し傾いていたが空はまだ青かった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8055r/>

空

2011年10月5日14時00分発行